2hC5d!

# 村立東海病院です



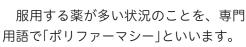
## そのお薬、本当に必要? ~"適切な"治療を受けるには

高齢になると、病気になりやすくなり服用する薬の量も増えてしまいがちになります。「気が付いたら10種類以上の飲み薬を飲んでいた・・・」などということもあるかと思います。

また、薬は時間を決めて飲む必要があるほか、中には飲みにくい形の薬もあります。さらに、「薬を飲むとむしろ調子が悪くなる」という経験をしたことがある方も多いかと思います。このような状況では、薬を飲むのが嫌になるのも当然です。

今回は、「薬を多く飲むこと」が抱える問題点について、簡潔に紹介します。

### **|**「ポリファーマシー」とは





ポリファーマシーには、多くの併存疾患に合わせて、治療の目標を達成できている状態の「"適切な"ポリファーマシー」と、治療効果が十分に得られなかったり、薬の副作用に対して治療の処方が増えたりする状態の「"不適切な"ポリファーマシー」が存在します。特に、この不適切なポリファーマシーは病気と考えられており、対応が必要といわれています。

### 「ポリファーマシー」の問題点

内服薬が多いことによる問題点は、大まかに次の2点が あります。

#### 問題点① 薬がうまく飲めないことで薬が残ってしまう

剤形の問題や、飲み忘れにより発生します。これにより、 日本国内で年間およそ500億円以上ものお金が無駄になっ ています。

## 問題点② 薬による副作用により、元の病気よりも深刻な病気を発症してしまう

特に、治療中の病気が4つ以上の方や、インスリンや不整脈の薬などを飲んでいる方は、リスクが高いといわれています。

また、薬による問題(転倒による骨折や、食欲の低下など)で病院に入院する方は年間10万人にも上るといわれています。

### 患者さんへのお願いです

薬の相談はかかりつけの医療機関へ

#### 【現状報告にご協力ください】

私たち医療者は、患者さんのために必要と判断し、必要性を説明した上で薬を処方しています。しかしながら、患者さんの自宅での状況や、薬を飲めていない・飲みたくないなどの状況について、しっかりと把握するのは難しいのが実情です。そのため、ポリファーマシーの改善には、医療者側の努力が必要なのはもちろんですが、患者さんのご意見が不可欠なのです。

## 【自己判断で薬の服用を中止しないでください】

薬の服用を急に中止することで、病 状がさらに悪化する可能性がありま す。自己判断で薬の服用を中止するこ とは避けましょう。

「薬が合わない・飲みにくい」と思うときは、 医療機関へご相談を!



村立東海病院 内科医 山﨑 亮太

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域福祉推進担当(☎287-0848)